



# ふじ美が原

富士見中学校

## 「仲間」と支えあい、磨きあい、良さを重ねた 「素晴らしかった」合唱祭

先週二六日、恒例となっており  
ます第七回合唱祭を執り行うこと  
ができました。例年にない早い雪  
で足元もよくない中でしたが今年  
も保護者の方々をはじめ地域の方々  
も多数ご参加いただきました。重ね  
て感謝申し上げます。

さて、今年の合唱祭も生徒の気  
持ちのあふれる素晴らしい合唱祭  
であったことが、生徒の満足感や  
視聴された方々から多数寄せられ  
た感想より伺われます。当日の様  
子についてお知らせしたいと考  
え、閉祭式における文化委員長の  
閉祭宣言、審査委員長のお言葉を  
掲載いたしたいと思います。

### 文化委員長閉祭式あいさつから

#### 「仲間が支えてくれたから」

#### 気持ち声を合わせた合唱祭

三年 樋口 梨紗子

ステージに立った時、私は想像以  
上に緊張していました。唇はふるぶ  
ると震えだし、ひざはガクガクだ  
し、歌詞もほとんど忘れかけていま  
した。でも、伴奏が始まった瞬間み  
んなの息遣いが聞こえました。「あ  
あなんだ、一人じゃないんだ。いつ

も通りでいいんだ。」そう思えたの  
はやっぱり、今までこの仲間で練習  
してきたからです。そうしたらふっ  
と緊張が解けて視界が開けました。  
「結果はどうであれ、今はこの歌を  
精一杯歌いたい」そう思って息を吸  
い込みました。

みなさん、みなさんも悔いの残ら  
ないよう全力で歌えましたか？歌っ  
てみて、そして、ほかのクラスほか  
の学年の合唱を聴いてたくさん感じ  
たことがあったでしょう。私は音楽  
的な知識も経験もありません。パー  
トの練習をするときには、あまり効  
果的なアドバイスは言えないし、歌  
っているときに音はずしたりテン  
ポがはずれたりします。でも、歌う  
ことは大好きです。そう思わせてく  
れたのは一緒に合唱を作った仲間が  
いたからです。失敗しても「大丈夫  
だよ。もう一回やろう」と声をかけ  
てくれました。「歌った後に後悔し  
たくない」「一生心に残るような合  
唱にしたい」仲間のそういう想いが  
私の背中を後押ししてくれました。  
今日それぞれの発表ではみんな生き

生きとした顔をしていました。きっ  
とそれは「この仲間となら安心して  
声を出せる」という強い思いがあっ  
たからだと思います。だからこれか  
ら、今日の歌をそして仲間と一つ  
の歌を作り上げながら過ごした時間  
を忘れないで下さい。

これで合唱祭は終わります。今日  
は世界で今この一瞬にしか存在しな  
いだった一つの合唱がたくさんの人  
に届けられた日です。このクラス  
で、学年で、全校で歌が歌えて私は  
本当に幸せです。すばらしい合唱祭  
を共に作り上げた仲間そして指導し  
支えてくださった全ての方々に感謝  
の思いをもってこの合唱祭の閉祭を  
宣言します。

### 審査委員長講評より

#### 「素晴らしい合唱祭」

#### 互いの良さに学びあい

#### やがて素晴らしく

花岡 澄 先生

本当に素晴らしい音楽祭でした。

「すばらしい」といふことを言っ

は簡単なのですが、具体的な良さがはつきりしていません。学級でも、学年合唱でも大切にしていたことがはつきりとしていた。例えば、どのクラスもワーと勢いにまかせて歌っていたわけではない。ハーモニーを響かせながら、でも決してちんやり歌っているわけでもない。ピアノ（音楽記号の）の小さな声がとても美しい。そういう本当の意味で合唱が素晴らしかった。こういう時に審査員はとも困ります。

面白いのは、どの学級も素晴らしのですが、微妙に学級によって歌い方が違ってました。歌詞を柔らかく包むように歌う学級もあれば、はっきりの歌う学級もある。各パートが同じようなバランスで歌を作っていることとする学級があれば、ある時は「自分たちのパートが頑張るからね」というような歌い方をする学級もある。声の張り方も違っていい。とても個性のある歌い方になってきた。これはどれがよくてどれがいけないということではないんです。それぞれに良いところがあるということ

とです。隣のクラスや他の学年とはそれぞれ良さや学ぶべき点が違って、みんな一つ一つ個性のある歌い方があるということを知ってほしい。金と銀という賞があるけれども、銀の学級にもたくさん学ぶべき点がある。それは差ではなく特徴なのです。その違いを互いに認め合うことができれば、ほかの学級、演奏は敵ではなく、学びあう仲間ということになります。他の人にある良さを自分の中に入れていくことでさらに良くなる。

つまり互いが仲間になるといこととです。そういう気持ちになれば賞の発表時に泣いたり、ワーとなつたりのないでしょう。

今日で音楽は終わるわけではないので、これからもうそういうことを大切にしていきながらさらに富士見中らしい合唱を磨き上げていってほしい。

## 非遵行為防止に係る

### 研修を行っています

ここへ来て、教職員の非遵行為について

ての事案が続けて報道されており、保護者・地域の皆様には大変ご心配をおかけしております。

富士見中学校では、職員会において毎月一回の研修を積み重ねておりますが、先日飲酒運転事案を受け、去る十一月十五日付けで県教委より指示のあった飲酒運転防止・根絶の取組についての研修を翌十六日に行いました。

今回の事案について、新聞記事を読み合わせ、その後、小グループで意見交換を行いました。

本校の教職員からは、このような行為で一瞬のうちに信頼が損なわれてしまうことに対して怒りの声が多く出され、決して本校職員からこのような行為を出さないことを皆で誓い合いました。

小グループで意見交換し合う職員



飲酒運転だけでなく、わいせつ事案その他の非遵行為も報道がなされておりますが、保護者の皆様・地域の

皆様には、どうか本校の職員を信じていただき、ご協力をお願いしたいと思っております。

よろしくお願ひします。

## 平成二十八年年度

### 全国学力・学習状況調査について

四月十九日、全国一斉に行われた標記の調査について、結果が九月終りに戻ってきております。

本校の三年生は、例年同様、ほぼ全国平均の結果でした。長野県全体では弱いと言われているB問題（活用問題）は、国語・数学ともに全国平均をやや上回る結果でした。

学力面以外で、学校や家庭での生活や日頃考えていることなどを問う生徒質問紙からは、「先生はあなたの良いところを認めてくれると思う」「学校に行くのは楽しいと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」という回答が全国並びに長野県平均を上回っており、大変嬉しく思っています。課題と思われることもありますが、今後の指導・支援に役立てていきたいと考えております。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266(92)2009

FAX 0266(92)7409

担当 名取 克裕